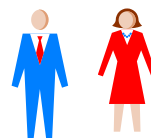


# 合算について

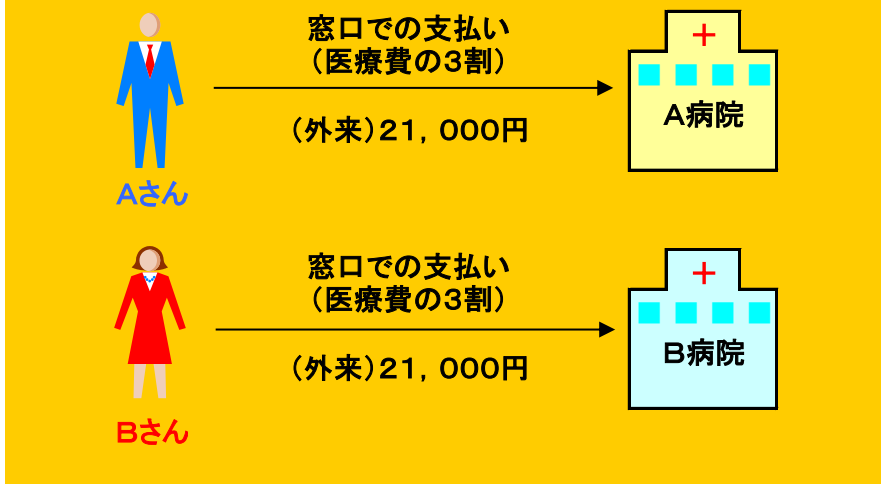


AさんBさんは同世帯

## ①70歳未満の方だけの世帯

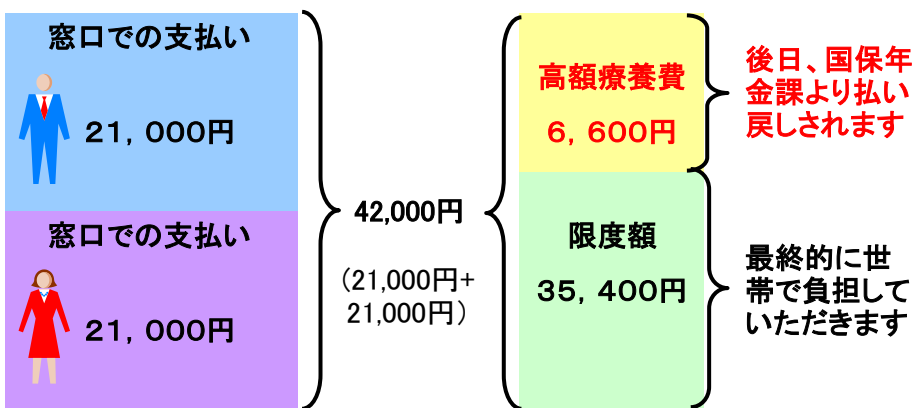
70歳未満の方は、同じ人が、同じ月（暦月）に、同じ医療機関に2万1千円以上の自己負担額を支払った分を、同一世帯で合計し、限度額を超えた分があとから支給されます。

### ☆合算できる場合（例1）



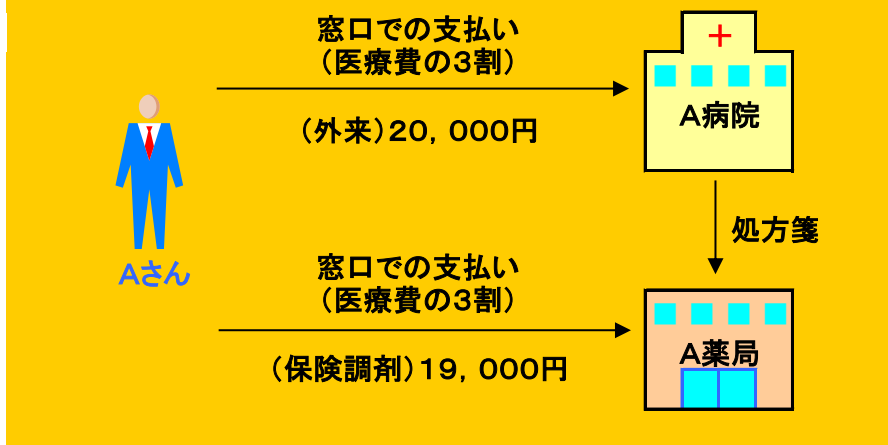
【限度額 35,400円のときの計算例】

AさんのA病院分、BさんのB病院分ともに合算基準を満たしているので、2つを足し合わせることができる

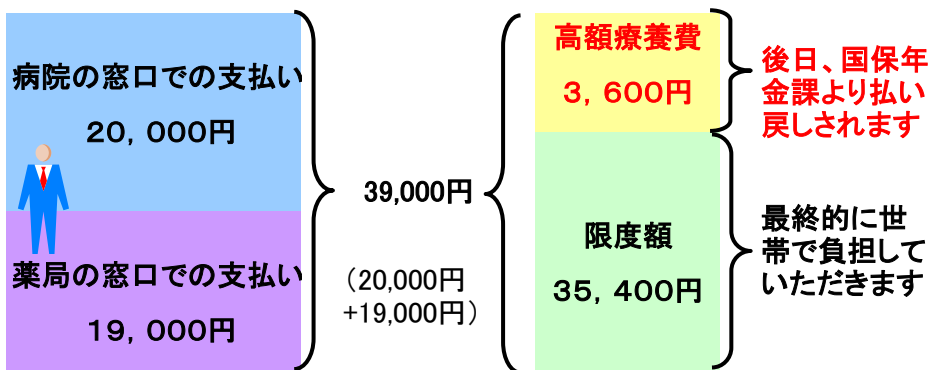


### ☆合算できる場合（例2）

院外処方の調剤負担は、処方を出された医療機関と合算できません。



【限度額 35,400円のときの計算例】



高額療養費は、一人の被保険者について、暦月ごと、医療機関ごとに計算します。また、同じ医療機関に受診しても、入院と外来、内科と歯科は別々に計算します。

### (例) 合算できない場合

※以下のような例の場合、合算することは出来ません。

